

Q 一 般 質 問

議員は「住民に代わって」村の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信や疑問をたずることができます。

表紙は語る

アイア・イ・ヘエア・ラ……、と歌いながら優雅に踊るのは「アロヒ・アイラナ・ムーキマ」の女性の面々。それは「輝く島・新島」を意味するハワイ語で、当地でフラダンスを主宰する会の名称。

小久保利佳氏が代表を務め、2006年5月に発足し今年で9年目を迎える。メンバーは25名で20代から70代までの広い年代層にわたり、その他初心者コースに8名、子供コースに8名

所属している。
毎週木曜日が練習日となっていて勤労福祉会館や青葉会館のフロアを借りて熱心かつリラックとした雰囲気です。会の活動が少しでも島の活性化やアピールにつながればということでこれまで島じまん、島民まつり、お台場のくさや試食会など各種イベントに積極的に参加している。



宇山誠二議員



防災対策について

問 災害を最小限に食い止めるためには、訓練を積み重ねることが大切であると思

う。今後の訓練は津波

想定並びに土砂災害に対する訓練と想像するが、具体的にどのような実施するのか？

答 現在の訓練に加え、夜間の訓練や町会ごとに自主防災組織を作り、それぞれで行って行く。

土砂災害訓練は、危険地域ごとに伝達訓練や職員による避難所開設や大規模土砂災害を想定した避難訓練を実施する。



山本均議員



この夏の観光対策はどのようになるのか？

問 夏に向けどんな方針で臨み、どこに

問題がありこれまでの事業を見直し新たにスタートするのか？

答 これまでの事業で成果が上がっ

ているものや意義が認められるものは続けていく。イルカ観光ツアーを今夏の目玉品として検討に入りたい。若年層の民宿経営者が増加するよう全力で支援する。観光協会や観



光業を営んでいる業者と同じ目標を掲げ、新島村の観光を一致団結して全力で努力する。

住民公聴会の感触は？

問 公聴会の実相はどのようなものだったか？村長の評価、印象は？また反省点、改善すべき点は？

答 若郷地区では43名が参加し、約30件の要望や提案があった。本村地区では38名が参加し、22件の要望や提案。式根島地区は58名が参加し、同じく約40件あった。

これから秋口に住民対話集会を開催して建設的な要望や提案を来年度予算で実施し、住民の声を行政に反映させたい。

問 「新島村ポイ捨て及びふん害の防止に関する条例」の実施は？

答 本条例の実施に当たって現在の進捗状

況は？

答 現在、条例施行規制案が完了し、議会と調整し早急に規制の公布を行う。予算措置は今年度は考えてないが、条例の趣旨を住民や来島客に周知、喚起し、環境衛生及び美化に努めていく。

村の新たな防災計画はどうなっているのか？

問 南海トラフ巨大地震の襲来が見られ、基本となる防災計画が今年度中に策定される。この計画の中身は？

答 25年度事業の津波避難計画、地域防災計画の資料を元に事業計画を進めていく。今回の改正の重要点は巨大地震、津波から住民の命を守ることを目

標に作成した。避難場所の変更、追加、避難行動要支援者対策、ハザードマップ等が主な変更となる。また土砂災害対策として避難情報、指示、勧告と情報伝達を追加した。

村の避難訓練は大丈夫か？

問 今年の避難訓練はどんな被害を想定し、どんな方法で実施するのか？

答 現在の訓練と違った訓練を行ない、参加者10割を目標に努力し、新島村全体で防災意識を高めていく。

問 小中学校の防災教育はどうしているのか？

答 自らの安全を自ら守れるようになることを第一の目的

に小学校では年間8、12時間、中学校では7時間程度学習している。教材は東日本大震災の記録映像など視覚教材を主に使って、「自らの安全を自ら守れるようになる」よう指導をしている。

青沼進二議員



村長の政治姿勢について

問 アベノミクス効果について、新島村にはどのような効果があると考えるか。

答 新島村としては直接効果が表われないとは言い難いが、雇用状況も良くないつつある。「島じま」が新島、式根島に来て



くれるよう観光振興にも傾注していく。

問 集団的自衛権の行使容認は、憲法第9条改正と戦争への道につながるかと考えるが見解を。

答 この問題については、私が本議会において明言することは避けたいと思うが、基本的に戦争への道につながるようなことは避けるべきと考える。

問 消費税増税を中止すべきとの立場を明確にすべき。増税は村に財政難を強いると考えるが見解を伺いたい。

答 新島村では、物件費、普通建設事業費に与える影響は大きい。私の立場では消費税率の引き上げに対して、反対賛成は申し上げることはできない。

教育委員会制度改正について

問 教育委員会制度改正については、明確に反対の意思表示すべきでは。

答 一定のバランスを取りつつも、地方行政の活性化が図られるものと評価している。村長と教育委員会との連携、協力が緊密になることを予想している。

問 「道徳教育」の教科書化は、愛国心のおしつけと国のために戦場へと送る狙いと「教育勅語」にながる危険があり反対の意を示すべきでは？

答 現在、文科省で検討が進められている。内容を含め現時点では解らないので、反対の意を示すのは不適切と思う。「教

育勅語」の復活に繋がるとのことは、少し飛躍しすぎて、教科書化が「教育勅語」の復活とは考え難い。

問 防災震災対策について大島町岡田港の船待ち避難タワー設置を、新島・式根島に同様の設置を予算化しては？

答 村独自で設置する避難タワーは、前浜付近に1ヶ所、住民、来島者を対象に検討している。式根島・若郷地区については、都の計画が確定しただい必要な場所に設置を検討する。



森田一議員



昨年5月に発表された南海トラフ巨大地震による東京都の被害想定では、新島村の人的被害は最大千三百人を超えると言われていたが、いまだ村からの防災対策についての具体策が示されないのはなぜか？

問 村は東京都の指示を待つだけでなく、村の計画をいち早く提示して、必要な予算の確保に向けてより早く動ける体制を

取ることが大事だと思いが村長の見解は。

答 トップの責任を自覚し、今後はスピード感をもって防災計画にしっかり取り組み、進めて行く。

問 若郷地域の防災訓練の確立と避難所の設置は。

答 避難路及び避難施設の設置について早急に検討する。

